

学校再編整備に係る各種団体の長等および保護者等説明会 質疑応答一覧

東部地区各種団体の長等の説明会（令和 5 年 6 月 23 日開催）

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校、小中一貫校とも 9 年間、人間関係は変わらない中で思うのは、いじめの問題である。理由があれば、違う学校に通えるのか。 ・全国には、小中一貫校が多数あると思うが、評価はどうなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定校区の変更理由が相応のものとして、認められる場合は対応する。 ・9 年間を一体とするので、縦横の人間関係が広がり、社会性が身につく。 ・教員についても専門性を活かすとともに、小中教職員間の協働意識が高まる。 ・学校に集まる子どもの数が多くなることから、施設利用や施設整備に課題がある。 ・高松市には高松第一学園という小中一貫校があり、関係者の話では、概ね一貫校としての成果を感じているとのことであった。
<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校と小中一貫校の違いは何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校は、1 人の校長、一つの教職員組織の体制となっており、小中一貫校は、小・中学校それぞれに校長と教職員組織がある体制であることが違いの一つである。
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の義務教育化はいつだったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・S20 年頃に 6 - 3 制ができたと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・5 年後には、人口が減ってきていることから、今から考えていかなければならない。 5 年間のうち、いつ再編整備について決定するのか、今後計画をしていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ、市としての方針も決まっておらず、義務教育学校か小中一貫校かは、これから皆様の意見を聞きながら決めていきたい。 ・義務教育学校については、県外の視察も予定している。 ・年齢別の人口を言うと、令和 5 年で 1 番多いのは 75 歳の約 1,188 人、次の 74 歳も 1,111 人である。そして、昨年生まれた 0 歳は、243 人となっている。 ・開校まで 5 年くらいはかかるので、皆様の意見を聞きながら、早期に取りまとめたい。
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も 2 回目 3 回目と説明会を開いて欲しい。 	